

ごあいさつ



経営管理委員会会長

港 義弘



代表理事理事長

松本 直樹

皆さまには、平素より香川県信用農業協同組合連合会ならびにJAバンク香川をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も当会をより深くご理解いただくため、当会の経営方針、業務内容、最新の業績等についてまとめた「JAバンク香川信連 DISCLOSURE 2026」を作成いたしました。ぜひ、ご一読いただき、当会に対するご理解をより深めていただければ幸いに存じます。

当会は、昭和23年8月の創立以来、香川県農業の発展と農家経済の向上はもとより、地域金融機関として地域経済・社会の繁栄に貢献する金融機関を目指して業務を展開してまいりました。これもひとえに皆さまのご愛顧、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、わが国経済は、旺盛なインバウンド需要や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いているものの、先行きについては、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクの高止まりによるエネルギー価格等の高騰を通じて物価へ波及し、個人消費の低迷などから、景気を下押しするリスクへの懸念もあります。さらに、国内の金融環境においては、「金利のある世界」が本格化しつつあるなか、国内外の金利および株価・為替動向の影響による物価変動等の不確実性など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

また、農業や地域社会を取り巻く環境は、生産資材・エネルギー価格の高止まりによる農業経営への影響や、人口減少・少子高齢化に伴う事業基盤の縮小、さらには気候変動対応やデジタル化の急速な進展など、複雑多様化しています。こうした厳しい情勢のなか、JAグループにおいては、10年後のめざす姿（持続可能な農業の実現、豊かでくらしやすい地域共生社会の実現、協同組合としての役割発揮）の実現に向けて、不断の自己改革を継続しています。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標への取り組みを着実に実践し、変化に対応した組織・事業基盤の確立を推し進めております。

このようななか、当会は会員の負託に応えうる持続可能な経営基盤の確立とJAバンクシステムの充実を最優先課題として取り組み、会員への還元機能の充実、安定的・継続的収益の確保ならびに県域機能の充実とガバナンスを中心とした業務運営体制の強化に取り組んでいます。

当会においては、我々が取り組むべき「JAバンク香川中期戦略(2025～2027年度)」の2年目を迎えており、多様化する「農業」・「くらし」・「地域」の持続性を確保し、組合員・利用者目線で問題解決に取り組むため、JAバンクならではの総合事業を活かした金融仲介機能をそれぞれの領域で発揮することをもう一段徹底・深化させることで、確かな価値提供を進めてまいります。

今後とも当会は地域金融機関としての社会的役割と責任を充分認識したうえで、経営資源の有効な活用および適切な配分を行い、JAバンク機能の一層の発揮に努める所存でございますので、更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月

香川県信用農業協同組合連合会

経営管理委員会会長 港 義弘

代表理事理事長 松本 直樹